

1日目 (2024年7月18日 (木))

第1会場 (アルプス①)

座学セミナー1	10:00~11:00	
座長：松田 直之	名古屋大学医学系研究科救急・集中治療医学分野	
LEC-01	敗血症の輸液・循環管理を科学する	飯塚病院 集中治療科 川上 大裕
座学セミナー2	11:20~12:20	
座長：小倉 真治	朝日大学 保健医療学部	
LEC-02	集中治療後症候群 (PICS) —最新知見と治療・予防へのアプローチ—	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 井上 茂亮
ランチョンセミナー1	12:40~13:40	東レ株式会社／東レ・メディカル株式会社
座長：西田 修	藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座	
LS-01	エンドトキシン吸着療法のエビデンスアップデート ～エンドトキシン性敗血症性ショックの治療と今後の展開～	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野 西岡 典宏
座学セミナー3	14:00~15:00	
座長：谷口 巧	金沢大学附属病院集中治療部	
LEC-03	術後を経験した“僕”が伝える術後せん妄予防；あなたが将来手術を受けるときのために	京都大学医学部附属病院 麻酔科 集中治療部 江木 盛時
座学セミナー4	15:20~16:20	
座長：土井 研人	東京大学救急・集中治療科	
LEC-04	60分で攻略！血液浄化療法ベーシック	日本大学病院 臨床工学室 三木 隆弘
座学セミナー5	16:40~17:40	
座長：西田 修	藤田医科大学 麻酔・侵襲制御医学講座	
LEC-05	日々の臨床において急性腎障害的をどう考えるか	東京大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学 土井 研人

第2会場（アルプス②）

座学セミナー6	10:00～11:00	
座長：谷口 巧	金沢大学附属病院集中治療部	
LEC-06	重症病態後の嚥下・呼吸リハビリテーション	昭和大学医学部リハビリテーション医学講座 笠井 史人
座学セミナー7	11:20～12:20	
座長：江木 盛時	京都大学医学部附属病院麻酔科	
LEC-07	栄養療法の基本のき	横浜市立大学附属病院集中治療部 中村 謙介
ランチョンセミナー2	12:40～13:40	塩野義製薬株式会社
座長：藤野 裕士	市立豊中病院	
LS-02	カルバペネム耐性菌感染症治療薬としてのセフィデロコルの位置付け	昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 二木 芳人
座学セミナー8	14:00～15:00	
座長：松田 直之	名古屋大学医学系研究科救急・集中治療医学分野	
LEC-08	最新の急性期栄養療法2024～集中治療に関わるすべてのスタッフへ～	聖マリアンナ医科大学救急医学 吉田 稔
座学セミナー9	15:20～16:20	
座長：井上 茂亮	和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座	
LEC-09	ICUで骨格筋障害を食い止められるのか？	愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻 飯田 有輝
座学セミナー10	16:40～17:40	
座長：宮城島 沙織	日本医療大学 保険医療学部	
LEC-10	誰でもできる筋肉評価～今日から身体計測、CT、エコー、体組成計、DXAを使いこなす！	神戸大学医学部医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 中西 信人

第3会場（麗峰）

座学セミナー11	10:00～11:00	
座長：黒田 泰弘	香川大学医学部救急災害医学	
LEC-11	睡眠を整えろ！重症患者の睡眠障害とその介入	札幌医科大学附属病院ICU、札幌医科大学医学部集中治療医学 春名 純平

座学セミナー12 11:20~12:20

座長：升田 好樹 札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター

LEC-12 人工呼吸器離脱とその後の呼吸管理の基本と実践

茨城キリスト教大学看護学部看護学科 大内 玲

ランチョンセミナー3 12:40~13:40 日本光電工業株式会社

Neurocritical Careを実践するための はじめの一步 もう一步

座長：黒田 泰弘 香川大学医学部・医学系研究科 救急災害医学

LS-03-1 Neurocritical Careを実践するための はじめの一步

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 中川 俊

LS-03-2 Neurocritical Careを実践するための もう一步

東京女子医科大学附属足立医療センター 脳神経外科 久保田 有一

座学セミナー13 専門医共通講習 (医療安全) 14:00~15:00

座長：相嶋 一登 横浜市立市民病院臨床工学部

LEC-13 集中治療室の設備と安全の知識

—特に電源と医療ガスについて—

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 臨床工学科 開 正宏

座学セミナー14 15:20~16:20

座長：佐藤 直樹 かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科

LEC-14 機械的補助循環 (Mechanical Circulatory Support) の基礎

小倉記念病院 臨床工学課 伊藤 朋晃

座学セミナー15 16:40~17:40

座長：竹内 宗之 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

LEC-15 「ポツンと一軒ICU」 —もしも明日から一軒家のあるじになったら！?—

市立三次中央病院救急科/広島大学大学院救急集中治療医学 松本 丈雄

2日目 (2024年7月19日 (金))

第1会場 (アルプス①)

座学セミナー16

9:00~10:00

座長：垣花 泰之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療医学分野

LEC-16 タスク・シフト/シェア時代のPICSの理解とリハビリテーション

藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 西田 修

座学セミナー17

10:30~11:30

座長：竹内 宗之

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 集中治療科

LEC-17 Lung imaging toolをわかりやすく学ぶ

- 肺や横隔膜の動きを可視化して、臨床に活かしてみよう -

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 方山 真朱

ランチョンセミナー4

12:00~13:00

フクダ電子株式会社

座長：藤野 裕士

市立豊中病院

LS-04 遠隔集中治療やラピッドレスポンスの運用定着に向けた行動経済学的な取り組み

横浜市立大学附属病院 集中治療部 高木 俊介

第2会場 (アルプス②)

座学セミナー18

9:00~10:00

座長：谷口 巧

金沢大学 麻酔・集中治療医学

LEC-18 働き方改革時代の集中治療研究の始め方

名古屋大学医学部附属病院救急科 春日井 大介

座学セミナー19

10:30~11:30

座長：垣花 泰之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療医学分野

LEC-19 U35世代のキャリアデザイン支援

東京医科歯科大学病院 集中治療部/脳神経内科 野田 浩太郎

ランチョンセミナー5

12:00~13:00

マシモジャパン株式会社

座長：西田 修

藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座

LS-05 呼吸、脳機能を総合的にモニターするRoot®の活用について

日本医科大学大学院医学研究科 疼痛制御麻酔科学分野 石川 真士

第3会場（麗峰）

座学セミナー20

9:00～10:00

座長：櫻本 秀明

日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科 クリティカルケア・災害看護領域

LEC-20 Family centered care～重症患者を支える家族へのケア～

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 田中 雄太

座学セミナー21 専門医共通講習（医療倫理）

10:30～11:30

座長：藤野 裕士

市立豊中病院

LEC-21 集中治療終末期医療にかかわる倫理

帝京大学医学部外科学講座 Acute Care Surgery 部門 伊藤 香

ランチョンセミナー6

12:00～13:00

丸石製薬株式会社

ICUにおける鎮痛鎮静管理はレミフェンタニルによってどう変化したのか

座長：美馬 裕之

神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・集中治療部

LS-06-1 多職種で取り組むICUにおける鎮痛鎮静管理

藤田医科大学病院 看護部 河合 佑亮

LS-06-2 集中治療室におけるレミフェンタニルの使い方

藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 栗山 直英

1日目 (2024年7月18日(木))

ハンズオンセミナー会場①「ホルンA」

人工呼吸器 (医師対象コース)

8:10~11:10

対 象

日常的に人工呼吸器に携わっている方

概要説明

昨年度も大好評だった人工呼吸ハンズオンを開催します！

講師陣には、日本呼吸療法医学会 セミナー委員が集まり、みなさんに『わかりやすく』『ここが聞きたかった』というテーマをハンズオン形式でお伝えします。

本ハンズオンでは、人工呼吸器を日常診療で使用されている方々を対象としています。コメディカルの方々でも、人工呼吸器をもっと深く知りたい！と思う方は、ご参加いただいても大丈夫です。講師一同、わかりやすくお伝えします。

【各ブースのテーマ】

人工呼吸器のグラフィック

これであなたもグラフィックを克服！～基礎から応用まで～

肺保護換気

～パッと見た瞬間にわかることだけにしたよ！～

自発呼吸の評価

～吸気努力を意識したグラフィック波形のミカタ～

最適なPEEP設定

プロフェッショナルによるベストなPEEP設定お見せします

1ブースあたり、6名の受講生に厳選していますので、『手取り足取り』、とても近い距離感で学ぶことができます。

本ハンズオンは医師向けとなっていますが、人工呼吸器に興味がある若手の先生にも役立つ内容だと思えます。

ぜひみなさまと蓼科でお会いできることを、講師一同楽しみにしております！

インストラクター

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 方山 真朱

徳島大学病院 ER・災害医療診療 板垣 大雅

亀田総合病院リハビリテーション室 鶴澤 吉宏

山形大学医学部附属病院高度集中治療センター 小野寺 悠

国際医療福祉大学成田病院看護部 鎌田 あゆみ

宮城県立こども病院集中治療科 小泉 沢

国際医療福祉大学成田病院麻酔・集中治療科 大村 和也

大阪大学医学部附属病院集中治療部 小山 有紀子

森ノ宮医療大学医療技術学部臨床工学科 藤江 建朗

日本医科大学武蔵小杉病院集中治療室 山口 貴子

対 象

コメディカル並びに初学者

概要説明

昨年度も大好評だった人工呼吸ハンズオンを開催します！

講師陣には、日本呼吸療法医学会 セミナー委員が集まり、みなさんに『わかりやすく』『ここが聞きたかった』というテーマをハンズオン形式でお伝えします。

今年は、コメディカルや初学者の方々を対象にしたコースを設けましたので、安心してご参加いただけるようにしています。

【各ブースのテーマ】

人工呼吸器のグラフィック

体験しながらグラフィックを学ぼう

肺保護換気とは？

～難しいことは取っ払って考えよう！～

この自発呼吸は大丈夫？

自発呼吸が出てきたよ！～同調性を意識したグラフィック波形のミカタ～

最適な PEEP 設定

もう PEEP 設定に困らない！ PEEP が好きになる秘訣お伝えします

1ブースあたり、6名の受講生に厳選していますので、『手取り足取り』、とても近い距離感で学ぶことができます。本ハンズオンはコメディカル・初学者向けとなっていますが、人工呼吸器に興味がある研修医の先生にも役立つ内容だと思います。

ぜひみなさまと蓼科でお会いできることを、講師一同楽しみにしております！

インストラクター

自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 方山 真朱

徳島大学病院 ER・災害医療診療 板垣 大雅

亀田総合病院リハビリテーション室 鵜澤 吉宏

山形大学医学部附属病院高度集中治療センター 小野寺 悠

国際医療福祉大学成田病院看護部 鎌田 あゆみ

宮城県立こども病院集中治療科 小泉 沢

国際医療福祉大学成田病院麻酔・集中治療科 大村 和也

大阪大学医学部附属病院集中治療部 小山 有紀子

森ノ宮医療大学医療技術学部臨床工学科 藤江 建朗

日本医科大学武蔵小杉病院集中治療室 山口 貴子

ハンズオンセミナー会場②「ホルンB」

ECMO 導入編コース

8:10～11:10

対 象

医師（初学者）

概要説明

昨年度も大好評だったECMOのハンズオンを今年も開催します！

あなたはどのような患者にECMOを回しますか？

本コースでは、

- ・呼吸ECMOの適応
 - ・ECMOのコンフィギュレーションの選択、ECMOカニューレの選択
 - ・ECMOカニューレの挿入
- などを学んでいきます。

インストラクター

札幌医科大学医学部救急医学講座 文屋 尚史

済生会宇都宮病院救急集中治療科 萩原 祥弘

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 濱口 純

広島大学大学院救急集中治療医学 大下 慎一郎

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 星野 耕大

済生会宇都宮病院救急集中治療科 藤田 健亮

札幌医科大学医学部救急医学講座 葛西 毅彦

帯広厚生病院救急科 和田 健志郎

札幌医科大学附属病院臨床工学部 岸本 万寿実

札幌医科大学附属病院臨床工学部 島田 朋和

東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター ICU 下澤 洋平

札幌医科大学附属病院看護部 佐々木 洋哉

アシスタントインストラクター

札幌医科大学医学部救急医学講座 萩原 詢哉

札幌医科大学医学部救急医学講座 郭 光徳

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 濱口 拓郎

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 佐藤 裕一

対 象

医師（初学者）、看護師

概要説明

看護師昨年度も大好評だったECMOのハンズオンを今年も開催します！ECMOのアラームが鳴った時あなたはどのように対応しますか？

本コースでは、

- ・ECMOのサーキットチェック、回路内圧の基本
- ・比較的遭遇する頻度の高いECMOのトラブルへの対応などを学んでいきます。

インストラクター

札幌医科大学医学部救急医学講座 文屋 尚史

済生会宇都宮病院救急集中治療科 萩原 祥弘

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 濱口 純

広島大学大学院救急集中治療医学 大下 慎一郎

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 星野 耕大

済生会宇都宮病院救急集中治療科 藤田 健亮

札幌医科大学医学部救急医学講座 葛西 毅彦

帯広厚生病院救急科 和田 健志郎

札幌医科大学附属病院臨床工学部 岸本 万寿実

札幌医科大学附属病院臨床工学部 島田 朋和

東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター ICU 下澤 洋平

札幌医科大学附属病院看護部 佐々木 洋哉

アシスタントインストラクター

札幌医科大学医学部救急医学講座 萩原 詢哉

札幌医科大学医学部救急医学講座 郭 光徳

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 濱口 拓郎

東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 佐藤 裕一

ハンズオンセミナー会場③「連山」

神経集中治療ハンズオンダイジェスト Bコース

①8:10～11:40 ②14:50～18:20

対 象

神経集中治療（ICPモニター・経頭蓋エコー）に興味のある医師・看護師

概要説明

Bコースでは「供給＝脳血流」の中でも脳血流の異常を引き起こす“頭蓋内圧亢進”と、脳血流の異常によって起こる“虚血”に焦点を当てる。本コースは、①TBI/ICP、②SAH/TC-CFIで展開する。

① TBI/ICP

- ・初療の段階でICPモニターのない患者でICP亢進の徴候を読み取りその対応を習得する。
- ・集中治療室におけるICPモニター下の患者対応、特に難治性ICP上昇に対する戦略を議論する。
※本コースは国際的に推奨されているstepwise protocolに準拠する。

② SAH/TC-CFI

- ・DCIの概念とそれに伴う集中治療室での全身管理を学ぶ。
- ・実際に模擬患者でTC-CFIによるvasospasmのスクリーニングを行い、その後の血管撮影やCTA/MRAなど取るべき介入を理解する。
- ・脳循環を維持するための適切な血行動態について議論する。

これら2つのシナリオを通して適切な脳血流管理のモニタリングを学び、明日からの臨床に役立つコースを提供する。

インストラクター

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 中川 俊

武蔵野赤十字病院 救命救急センター 鈴木 秀鷹

東京都立墨東病院 集中治療科 岡田 和也

公立昭和病院 救命救急センター 長谷川 綾香

JA広島総合病院 救急・集中治療科 櫻谷 正明

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 吉村 元

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 諸橋 優祐

浦添総合病院 救命救急センター 中泉 貴之

TMGあさか医療センター てんかんセンター／臨床検査部 福地 聡子

京都大学大学院医学科 狩野 謙一

足立医療センター 脳神経外科 神部 茉由

アシスタントインストラクター

奈良県総合医療センター 集中治療科 砂田 大賀

日本赤十字社医療センター 放射線科 宮崎 直

さいたま赤十字病院 救急科 木下 美幸

TMGあさか医療センター 神経集中治療科看護師 栗原 有加

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 下山 京一郎

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 浅田 萌々子

武蔵野赤十字病院 救命救急センター 渡辺 真那斗

ハンズオンセミナー会場④「樹林」

神経集中治療ハンズオンダイジェスト Aコース

①8:10~11:40 ②14:50~18:20

対 象

神経集中治療（脳波モニタリング）に興味のある医師・看護師

概要説明

神経集中治療の目的は脳の酸素需給バランスを保つことにある。そのバランスは「供給＝脳血流」と「消費＝脳代謝」で決まる。Aコースでは「脳代謝」をテーマとして、脳代謝を上昇させる要因の一つである“発作”に焦点をあて、そのモニタリングとしての脳波を学習する。本コースは、①脳波の装着と管理、②脳波判読で展開する。

①装着と管理

- ・脳波の基本であるモニタージュ、電極と脳波計の仕組み、装着時のコツ、測定時の設定などを学び、実際に装着を練習する。
- ・モニタリング中に問題となる様々なアーチファクトを実演して体験してもらう。

②脳波判読

- ・モニタリング中に遭遇する異常波形に対して、治療の必要性が判断できることを目標とする。
- ※本コースの判読はACNS2021に基づいて行い、脳波上の発作の定義を習得する。

様々な疾患の急性期における脳波を扱い、1日で装着から判読まで学び、明日からの臨床に役立つコースを提供する。

インストラクター

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 中川 俊

武蔵野赤十字病院 救命救急センター 鈴木 秀鷹

東京都立墨東病院 集中治療科 岡田 和也

公立昭和病院 救命救急センター 長谷川 綾香

JA広島総合病院 救急・集中治療科 櫻谷 正明

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 吉村 元

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 諸橋 優祐

浦添総合病院 救命救急センター 中泉 貴之

TMGあさか医療センター てんかんセンター／臨床検査部 福地 聡子

京都大学大学院医学科 狩野 謙一

足立医療センター 脳神経外科 神部 茉由

アシスタントインストラクター

奈良県総合医療センター 集中治療科 砂田 大賀

日本赤十字社医療センター 放射線科 宮崎 直

さいたま赤十字病院 救急科 木下 美幸

TMGあさか医療センター 神経集中治療科看護師 栗原 有加

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 下山 京一郎

TMGあさか医療センター 神経集中治療科 浅田 萌々子

武蔵野赤十字病院 救命救急センター 渡辺 真那斗

ハンズオンセミナー会場⑤「パレス」

骨格筋評価コース
～骨格筋エコーと体組成計で『筋』というブラックボックスを覗いてみよう～

8:10～11:10

対 象

医師・看護師・リハビリ関連職種・その他骨格筋に興味のある方

概要説明

近年、重症患者における骨格筋の評価方法として、エコーや体組成計が使用されるようになってきました。早期リハビリテーションの効果判定など、臨床研究を中心に広く用いられるようになってきました。しかしながら、測定精度や測定結果の解釈には注意が必要であり、臨床場面に落とし込むには正しい知識の習得と測定精度向上のためのトレーニングが欠かせません。

本セミナーでは、エコーや体組成計による骨格筋評価とその解釈について、ファントムモデルや人体による実技を中心に学びます。

これから臨床や研究で骨格筋エコーや体組成計を導入してみたいと思っている方、使っているけどイマイチ自信がない方々、周囲に教えてくれる人がいなくて困っている方、一緒に『筋』というブラックボックスを覗いてみませんか？

インストラクター

岡山赤十字病院 リハビリテーション科 小幡 賢吾

神戸大学 災害救急医学 中西 信人

日本医療大学 保健医療学部 宮城島 沙織

愛知淑徳大学 健康医療科学部 飯田 有輝

藤田医科大学病院 リハビリテーション部 篠原 史都

福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部 野々山 忠芳

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 塚越 大智

秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部 大倉 和貴

対 象

気道管理に関わる若手医師

概要説明

麻酔、救急、集中治療医にとって気道緊急に精通しておくことは必須であり、緊急時の輪状甲状靭帯切開の適応とその手技についても必ず習得しておく必要がある。しかし実際に経験することは少なく、シミュレーションでのトレーニングが重要となる。この度、豚喉頭を使用した輪状甲状靭帯切開を経験してもらい、気道緊急について復習する機会としてもらいたい。

インストラクター

北海道大学病院救急科 方波見 謙一

聖マリアンナ医科大学麻酔科 中川 雅史

北海道大学病院救急科 吉田 知由

済生会宇都宮病院集中治療科 松本 悠

2日目 (2024年7月19日(金))

ハンズオンセミナー会場①「ホルンA」

エコーNP/NSコース 病態の「見える化」を体験しよう！
NS/NP向けポイントオブケア ①②

①8:40～11:40 ②13:30～16:30

対 象

看護師

概要説明

Point-of-Care Point-of-Care Ultrasonography (POCUS) は「チョイあてエコー」と言われるように、検査室の超音波検査とは異なり、必要な部分のみに焦点を当てて評価することで、必要な臨床情報を短時間で得られるため、病態の把握や診療方針を早期に立てることができる非常に有用な検査法です。

近年、多くの看護師が聴診器と同様に超音波プローブを患者に当てています。例えば、採血をする際に血管を確認したり、残尿感のある患者に残尿の評価を行うことができます。視覚で確認でき、記録・評価ができるということは非常に有用です。今回のコースではエコーを用いた膀胱・便秘の評価、エコーガイド下での末梢血管確保、また呼吸循環の評価としての簡便な心エコーと胸水や気胸の評価ができる肺エコーなど、初心者でも明日からすぐに使いたくなる超音波セミナーを開催します。ふるってご参加ください。

エコーコース責任者

自治医科大学付属病院 周術期センター 鈴木 昭広

インストラクター

旭川医科大学 救急学講座 岡田 基

自治医科大学 麻酔・集中治療医学講座 原 鉄人

旭川医科大学 救急学講座 中嶋 駿介

アシスタントインストラクター

埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターICU 集中治療認証看護師 (ICRN) 古屋 幸太

日本医科大学武蔵小杉病院 集中治療室 看護係長 山口 貴子

信州大学医学部附属病院 集中治療部 クリティカルケア認定看護師 矢嶋 恵理

太田記念病院 救命救急センター ICU/CCU 看護師 青野 剛久

公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 片山 雪子

ハンズオンセミナー会場②「ホルンB」

エコーDrコース basicコース 8:40～11:40

対 象

初学者向け

概要説明

エコーを始めるにあたって自信がない方や独学で学んできたが技術を向上させたい方に向けたコースです。神経、気道・肺・横隔膜、心臓、腹部の4つの分野において、「基本的な描出」ができるようになることが目標です。正常な所見の描出だけでなく、臨床最前線でエコーを活用しているインストラクターだからこそ持っている“多くの異常所見”を提示しそれを供覧することで、技術だけでなく診断能力も向上させます。

*ハンズオン形式の実習に多くの時間を割くため、基本的な講義はございません。学会より刊行されている「集中治療超音波画像診断テキスト」が事前学習資料となります。なお、資機材の都合により、内容が変更される可能性があります。

エコーコース責任者

自治医科大学付属病院 周術期センター 鈴木 昭広

インストラクター 恩賜財団 済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 栃木県救命救急センター 藤田 健亮

聖マリアンナ医科大学 救急医学講座 藤本 佳久

旭川医科大学 救命救急センター 丹保 亜希仁

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 小林 絵梨

長崎大学病院 高度救命救急センター 井上 聡

東北大学病院 高度救命救急センター 勝田 賢

アシスタントインストラクター

聖マリアンナ医科大学 大学病院 救命救急センター 佐久間 絢

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 濱口 拓郎

かわぐち心臓呼吸器病院 心臓血管外科 高橋 秀

静岡県立総合病院 救命救急科 夏目 晃輔

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 中村 聡志

対 象

エコーをすでに自分なりに利用しているが、スキルアップを考えている医師

概要説明

患者の状態や病態に応じて、どの臓器をどのように評価し、治療へと繋げ、治療の効果を判定していくかに焦点を当てたコースです。臨床での「Decision making」に活かせるようになることが目標です。単純な病態だけでなく、複雑な病態や体外循環装置（IABPやImpella、ECMOなど）を使用している患者に対する、エコーによる領域横断的な評価と活用法について、教科書的な内容に加えて多くの実践的な「TIPs」を盛り込んだ内容になっています。*ハンズオン形式の実習に多くの時間を割くため、基本的な講義はございません。学会より刊行されている「集中治療超音波画像診断テキスト」が事前学習資料となります。また、資機材の都合により、内容が変更される可能性があります。*ハンズオン形式の実習に多くの時間を割くため、基本的な講義はございません。「集中治療超音波画像診断テキスト」を事前に一読することをお勧めします。また、資機材の都合により、内容が変更される可能性があります。

エコーコース責任者

自治医科大学付属病院 周術期センター 鈴木 昭広

インストラクター 恩賜財団 済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 栃木県救命救急センター 藤田 健亮

聖マリアンナ医科大学 救急医学講座 藤本 佳久

旭川医科大学 救命救急センター 丹保 亜希仁

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 小林 絵梨

長崎大学病院 高度救命救急センター 井上 聡

東北大学病院 高度救命救急センター 勝田 賢

アシスタントインストラクター

聖マリアンナ医科大学 大学病院 救命救急センター 佐久間 絢

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 濱口 拓郎

かわぐち心臓呼吸器病院 心臓血管外科 高橋 秀

静岡県立総合病院 救命救急科 夏目 晃輔

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 中村 聡志

ハンズオンセミナー会場④「樹林」

急性血液浄化コース
～これで安心！CHDF基本手技攻略～ ①②

①8:20～11:50 ②13:00～16:30

対 象

医師・看護師・臨床工学技士・その他血液浄化に興味のある方

概要説明

急性血液浄化療法は集中治療に欠かせない治療の一つですが、様々な臨床効果を得られる反面、侵襲の大きい治療法です。体外循環であること、かつ長時間の管理となるため、患者の安全を担保しながら治療効果を最大限に得るためには操作と管理方法を習熟する必要があります。

そこで、本セミナーでは現在、本邦で使用できる多目的血液浄化装置と日本急性血液浄化学会監修ビデオコンテンツを用い、実際に遭遇する臨床場面に即した手技（準備から回収、トラブルシューティング）と施行状況のアセスメントなど管理のポイントを学びます。これから急性血液浄化をやっていこうと思っている方々、指示は出すけどホントはよくわかっていない医師の方々、受け持ちになると不安な看護師の方々、やってはいるけどイマイチ自信ない方々は是非ご参加ください。

*①②は同一内容です

*受講決定後、希望機種等のアンケートを行います

インストラクター

日本大学病院 臨床工学室 三木 隆弘

東京大学 救急・集中治療医学教室 土井 研人

日本医療大学 臨床工学科 千原 伸也

日本大学病院 臨床工学室 山中 光昭

札幌医科大学附属病院 臨床工学部 島田 朋和

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 臨床工学科 開 正宏

大阪大学附属病院 臨床工学部 峰松 祐輔

済生会横浜市東部病院 臨床工学部 山田 麻有佳

川崎市立多摩病院 クリニカルエンジニア部 濱田 悠佑

ハンズオンセミナー会場⑤「パレス」

Rapid Response System 出動スタッフ養成コース

8:40～11:40

対 象

医師（専門医以上）、看護師（ラダー3以上）

概要説明

MET、RRT、CCOTとして出動する方
—出動するなら抑えておきましょう！—

Rapid response system (RRS) における対応要素（出動者）として活動する方を対象としたセミナーです。症例を通して知識や技術ではない、必要な要素を学ぶことに焦点が置かれています。RRSをこれから立ち上げる施設やRRS出動スタッフとしての経験値が少ない方は、本研修を通してRRSが大事にしなければならない事を熟考する機会にしてください。

*本コースは、医師（専門医以上）、看護師（ラダー3以上）を対象としています。多職種混同コースです。

*本コースは急性期充実体制加算算定における“RRSの導入”に関する所定の研修に該当するものです。

インストラクター

北里大学病院 集中治療センター RST・RRT室 小池 朋孝

さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 奥田 裕子

静岡県立総合病院 集中治療センター 太田 啓介

北里大学病院 集中治療センター RST・RRT室 森安 恵実